

● ニュース

西都児湯地域における 口蹄疫等の防疫措置に関する協定締結

11月1日（火）に西都・児湯地域7市町村長が、口蹄疫等の家畜伝染病の予防やまん延防止などについて、相互協力などに関する内容を定めた協定を締結しました。

この協定により各市町村の連携した予防体制の構築や、迅速な防疫活動が期待されます。



● ニュース

防衛大臣から新富町へ感謝状贈呈

平成23年度自衛隊記念日における防衛大臣感謝状贈呈式が行われ、我が国防衛と自衛隊任務の深い理解に対し、防衛大臣から感謝状が贈呈されました。



● 御祝い

祝！100歳

今別府の今井シズさんが9月24日（土）に100歳の誕生日を迎えられ、土屋町長がお祝いのため自宅を訪問しました。

散歩や、手先の器用さを生かしてチラシなどを使った蝶々づくり等を楽しみとされており、とてもお元気な様子でした。



そば振興会の十割そば。薫り高く深い味わいが楽しめる逸品



一面に広がるそば畑は、新富町の秋の風物詩

しんとみ特産ナビ④

そば

新富町は、県内で第2位(2010世界農林業センサス)の作付面積をほこる「そば」の一大産地です。
秋になると町内のいたるところで、白い可憐な花を満開にしたそば畑が訪れる人の目を楽しませてくれます。



(インタビュー)
新富町そば振興会
会長 岩本 博さん

そばを植え始めたのは、早期水稲後の水田を有効活用する裏作として考えたのが始まりです。また、ジャンボタニシ対策にもなるという考え方もありました。

品種は宮崎大粒を中心に植えていましたが、現在では昨年、県が新たに開発した「宮崎早生かおり」を中心に作付けしています。成熟が早いので収量アップを期待しています。

振興会では、十割そばなどを町で行われる各イベント等で販売しています。できれば、より多くの人に食べてほしいので、町内でそばを食べることでできる場所が、もっと増えてほしいです。将来的には、「そばの地産・地消」ができたらいいですね。

また、そばに付加価値を付けて売りたいとも考えているので、町内の各団体と連携して一緒に町を盛り上げられたいと思っています。